

1. 会期 令和元年11月16日(土)、17日(日)
2. 会場 熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟
(〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号)

3. 日程

中央区

<第1日目>

11月16日(土)

9:30	10:00	12:00	13:00	13:30	16:30	17:30	18:00~
受付	ポスター発表	理事会		講演1「発達障害への神経心理学的アプローチ」 シンポジウム「障害のある子どものアセスメント～支援の基礎としての子どもの実態把握」	総会		懇親会(くすの木会館)

※講演1とシンポジウムは公開開催の予定です。また、日本臨床発達心理士会(九州・沖縄支部)との共催による講演・シンポジウムです。更新ポイントは両方(講演・シンポジウム)に参加することで付与されます。詳しくは日本臨床発達心理士会(九州・沖縄支部)にお尋ね下さい。

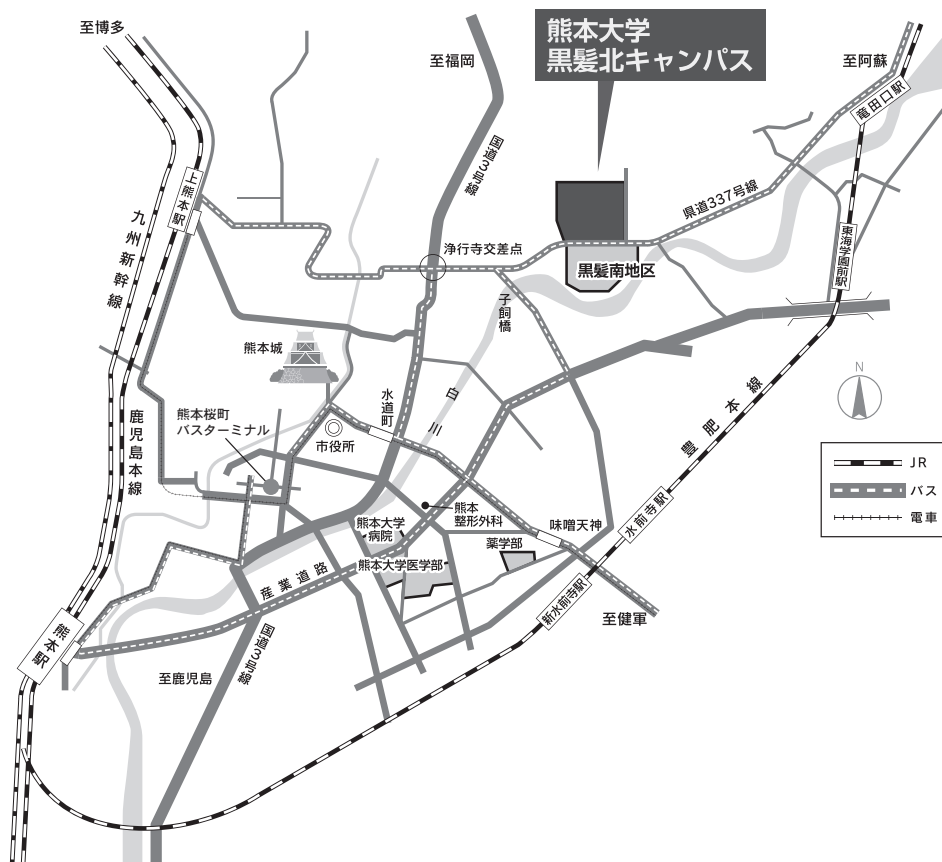
<第2日目>

11月17日(日)

9:30	10:00	12:00	12:30	13:30	15:30
受付	ポスター発表		選考委員会	講演2「性の多様性理解と学校現場」	

講演2も公開講演の予定です。ご講演に加えて参加者相互の理解を深める対話セッションを時間内で予定しています。

会場（黒髪キャンパス）までのアクセス



■熊本空港から

空港リムジンバス：熊本駅行き「通町筋」下車、「水道町」から産交バスで楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

タクシー：熊本大学黒髪キャンパスまで約 35 分。約 3,700 円

■JR熊本駅から

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

都市バス：第一環状線 [駅 2]（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

市電+産交バス：市電の健軍行きに乗車し「水道町」で下車。産交バスへ乗換。水道町バス停より、楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

タクシー：熊本大学黒髪キャンパスまで約 20 分。約 1,700 円

■JR上熊本駅から

都市バス：第一環状線 [駅 1]、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

タクシー：熊本大学黒髪キャンパスまで約 12 分。約 1,000 円

■熊本桜町バスターミナル

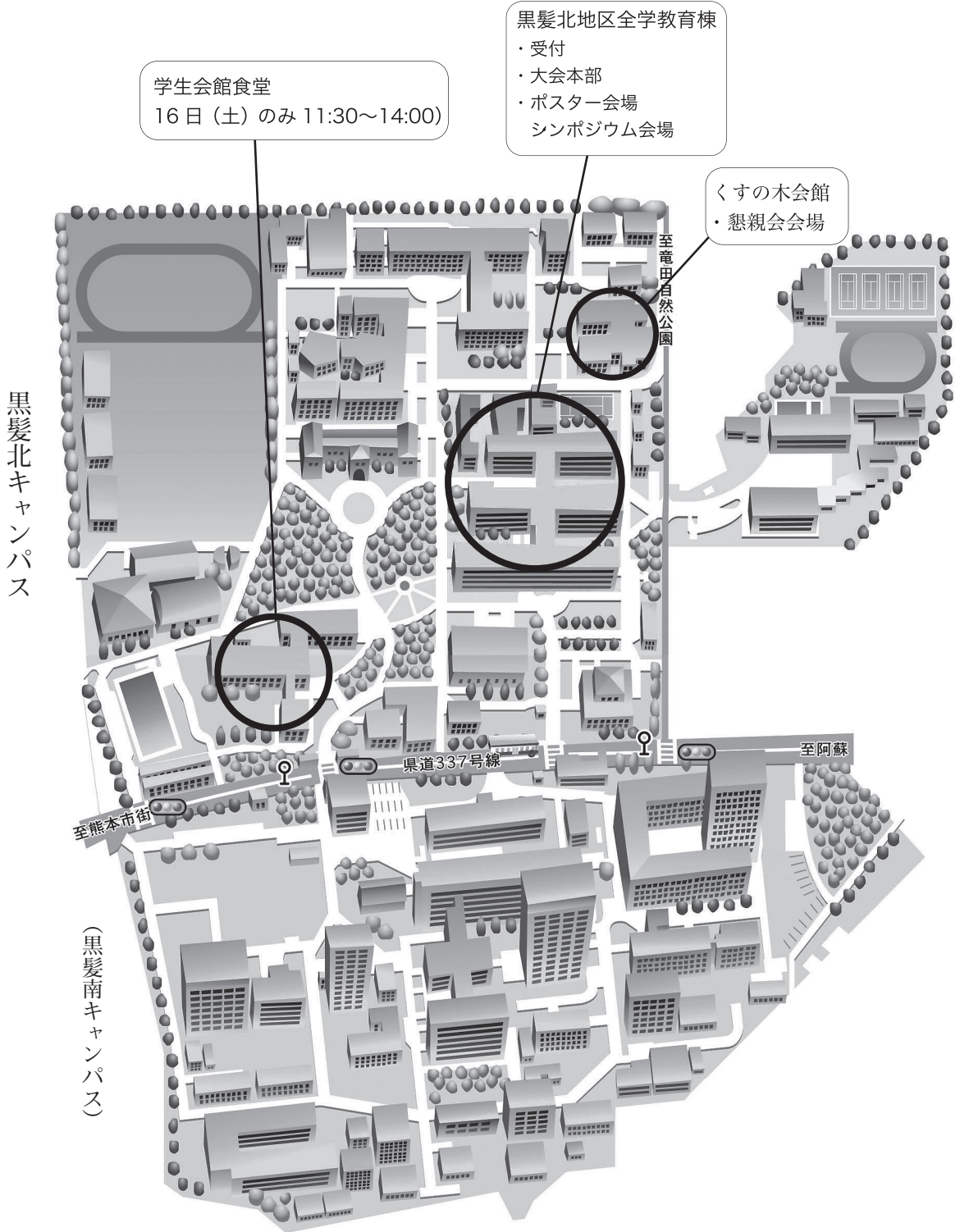
（16 番のりば）産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

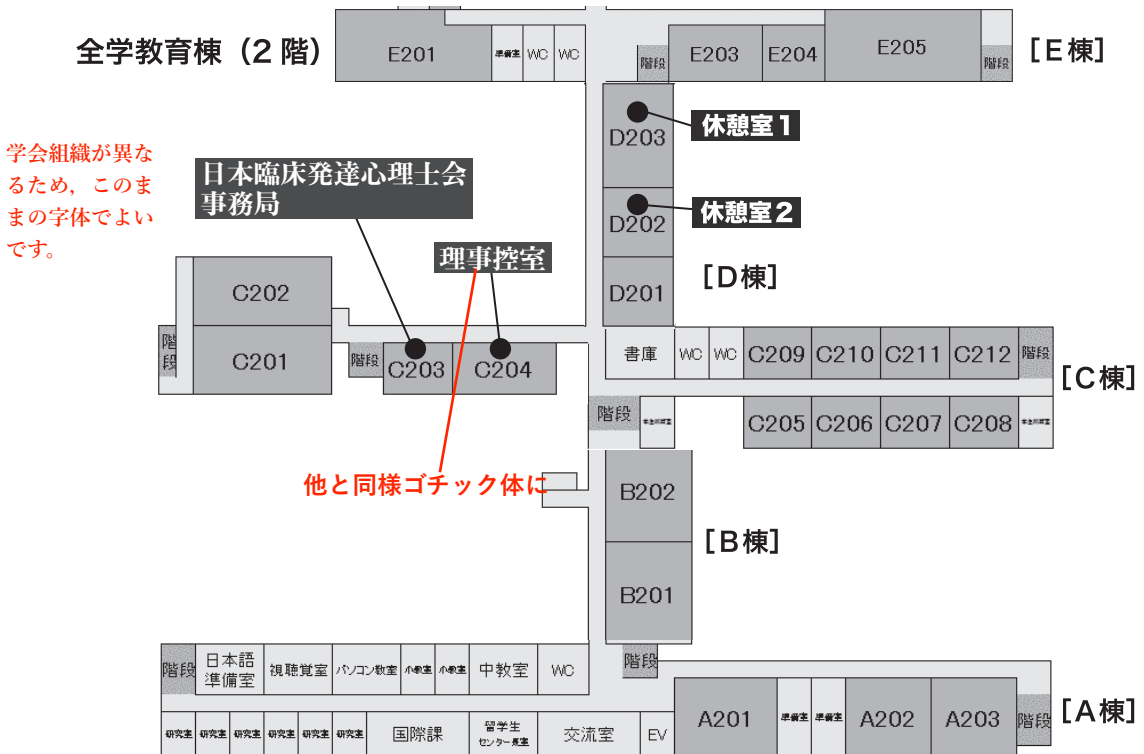
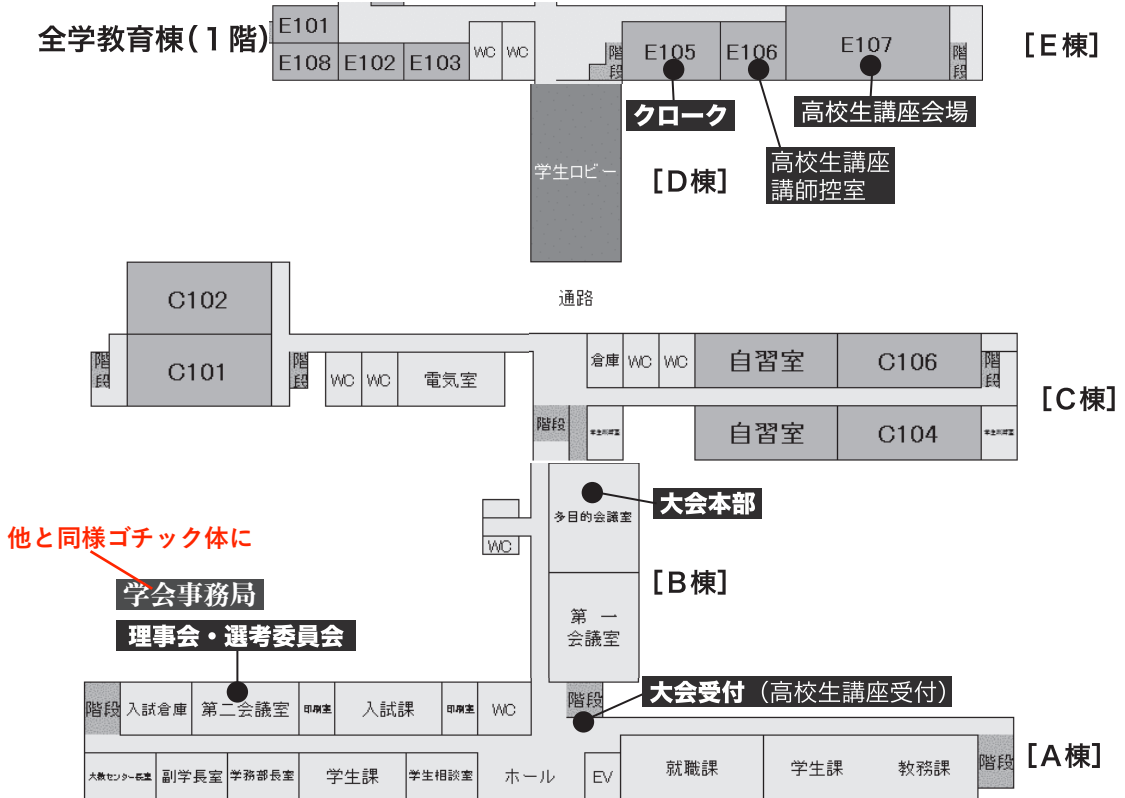
タクシー：熊本大学黒髪キャンパスまで約 15 分。約 1,400 円

※黒髪キャンパス（北地区）は駐車場が限られております。公共交通機関をご利用下さい。

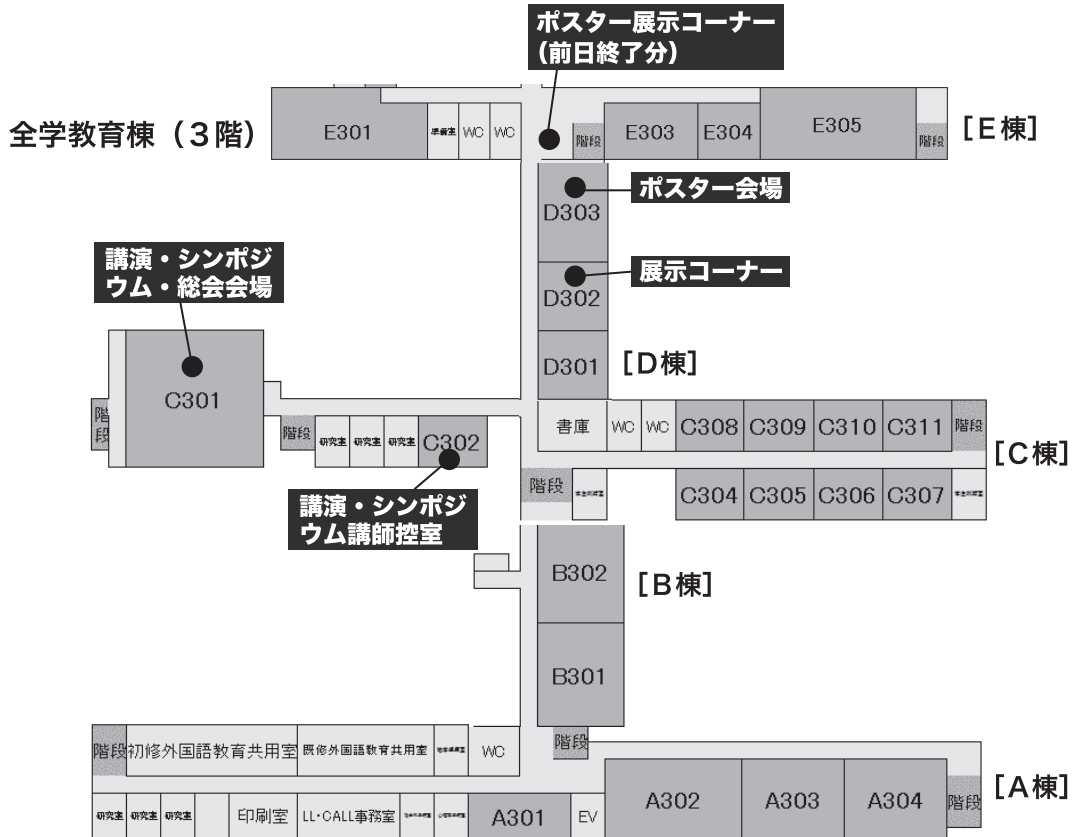
会場案内図（黒髪北キャンパス 全学教育棟）



会場案内図（黒髪北地区 全学教育棟 1階、2階）



会場案内図（黒髪北地区 全学教育棟 3階）



大会参加者へのご案内

1. 受付

- (1) 受付場所 黒髪北地区全学教育棟（A棟）1階正面玄関ホールで行います。
- (2) 受付時間 9：30～
- (3) 大会関係費

大会参加費	一般会員・学生会員（大学院生・研究生）	3,000円
	学部学生臨時会員（第1発表者）・非会員連名発表者・非会員臨時会員	2,000円
	高校生臨時会員	500円
	名誉会員	無料
発表費*	非会員の連名発表者および学部学生臨時会員の連名発表者	2,000円
懇親会費	一般会員・臨時会員・非会員連名発表者・名誉会員	4,000円
	学生会員（大学院生・研究生）・学部学生臨時会員	2,000円
論文集代		1,200円

*非会員の連名発表費は、第1発表者がまとめてお支払い下さい。

*非会員が複数の発表に連名する場合、発表費は重複して徴収しません。（九州心理学会会則・細則をご参照下さい。）複数の発表に連名される方がいる場合には、申込み用紙の備考欄に、どの第1発表者が支払いをされるかについてご明記下さい。

*非会員（連名発表者）が大会に参加する場合、発表費とは別に大会参加費が必要です。学部学生臨時会員（第1発表者）からは大会参加費のみを徴収いたします。学部学生臨時会員（連名発表者）からは連名発表費のみを徴収いたします。

- (4) 諸費用支払い 未納の方は、受付にて諸費用支払表にご記入の後、お支払い下さい。
- (5) 参加章 受付を済まされた方には参加章をお渡しします。会期中は必ずお付け下さい。

2. 理事会

1日目（11/16）12:00 から、全学教育棟（A棟1階）の第2会議室（西側奥）にて開催します。理事の方は必ずご出席下さい。

3. 総会

1日目（11/16）16:30 から全学教育棟（C棟3階）C301教室にて開催します。学会会

員の方は全員ご出席下さい。

4. 選考委員会

2日目(11/17)の12:20から、全学教育棟(A棟1階)の第2会議室(西側奥)にて大会優秀発表賞および優秀実践研究賞の選考委員会を開催します。選考委員の方は必ずご出席下さい。

5. 懇親会

参加者の親睦と情報交換をはかるため、1日目の18:00より熊本大学福利厚生施設「くすの木会館」(会場より徒歩2分)にて開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

6. 休憩室

大会期間中の休憩室を全学教育棟(D棟2階)D202, D203教室に設けます。ご利用下さい。

7. クローク

お荷物は全学教育棟(E棟1階)E105教室でお預かり致します。お預かり時間は、1日目は9:30から18:00まで、2日目は9:30から16:00までです。ただし、貴重品のお預かりはできませんのでご了承下さい。

8. 展示・販売

書籍等の展示・販売を全学教育棟(D棟3階)D302に設置致します。

9. 昼食

1日目(11/16)は、学生会館食堂をご利用いただけます。2日目(11/17)につきましては、ご利用いただくことができませんので、大学周辺の飲食店やコンビニをご利用下さい。

10. 大会本部

大会本部は、全学教育棟(B棟1階)の多目的会議室に設けます。発表取消しなどのご用件は、E-mail(kyu-shin@kumamoto-u.ac.jp)でも承ります。会場での呼び出しは原則としていたしません。

11. 大会優秀発表賞の推薦

九州心理学会では、大会での全発表者を対象とした「九州心理学会大会優秀発表賞」の選考、賞の授与を行っております。九州心理学会大会優秀発表賞規程に基づき、優秀発表賞(1件程度:全発表者対象)、若手研究奨励賞(1件程度:学生会員発表者対象)、および石田研究奨励賞(1件:若手研究奨励賞受賞者対象)の選考を行います(ただし、基準を満たす優秀な発表がない場合、“受賞対象なし”となる場合もあります)。

賞の選考は、大会期間中に、一般会員の推薦に基づき、選考委員会での協議により行われます。推薦書は2日目の12:00までに発表受付のボックスに入れて下さい。大会参加者の皆さまには、数多くのご推薦をよろしくお願い致します。

なお、優秀実践研究賞につきましては、事前にご推薦いただいた研究について選考致します。

12. その他

学会スタッフはスタッフ用名札を付けております。ご不明な店は遠慮なくお尋ね下さい。なお、全館禁煙となっておりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

13. お問い合わせ・連絡先

(1) 九州心理学会第80回大会について事務全般のお問い合わせ先

九州心理学会第80回大会事務局

〒860-8555 熊本市黒髪 2-40-1 熊本大学教育学部学校教育（心理）藤田研究室内

TEL & FAX 096-342-2633 (直通)

E-mail kyu-shin@kumamoto-u.ac.jp

中央区

(2) 九州心理学会第80回大会への参加・発表申込みについてのお問い合わせ先

九州心理学会第80回大会ホームページ管理担当

熊本大学文学部（心理）寺本研究室内

URL <http://www.let.kumamoto-u.ac.jp/ihs/hum/psychology/kpa80/index.html>

E-mail kyushin80@gmail.com

(3) 九州心理学会の会則や運営、新規入会申込みのお問い合わせ先

九州心理学会事務局

〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635

久留米大学文学部心理学科内

TEL 0942-43-4411(1069) FAX 0942-43-4797

URL <http://www.psychology.hes.kyushu-u.ac.jp/~kpa/>

E-mail kpa@kurume-u.ac.jp

研究発表者へのご案内

1. 発表会場

ポスター形式による発表を、両日ともに全学教育棟（D棟3階）D303教室で行います。なお、1日目発表後のポスターは2日目にポスター展示コーナー（D棟3Fロビー）に展示します。

2. 研究発表

割り当てられたセッション中、ポスターを掲示し、決められた在席責任時間のあいだ待機して、質疑に応じることで正式発表とみなされます。セッション中は、在席責任時間外もできるだけ在席することが望まれます。在席責任時間中には大会本部による出欠確認を行います。

3. 在席責任時間

在席責任時間は以下に従ってください。

ポスター掲示番号が奇数の方 10:00～11:00

ポスター掲示番号が偶数の方 11:00～12:00

各自のポスター掲示番号は発表プログラムにてご確認ください。

4. ポスターの掲示

ポスター会場にポスターを掲示するパネルを用意しています。各自決められた所定の番号のパネルを利用して発表して下さい。ポスターはセッション開始10分前までに貼って下さい。

ポスターの最上部に発表題目と発表者の氏名・所属を明示して下さい。文字の大きさは特に指定はありませんが、2mくらい離れた位置からでも読める程度の大きさを目安にして下さい。

パネルには画鋏を利用して貼り付けて下さい。画鋏はポスター会場に準備しています。

5. ポスターの撤去

大会優秀発表賞の選考のために、発表済みのポスターも2日目の12:00までは継続して掲示していただくようお願いします。1日目発表終了後のポスターは、大会準備委員会によってポスター展示室に移動を行います。そのままの状態にしておいて下さい。

ポスターの撤去は、1日目と2日目の発表者はいずれも2日目の12:00以降にお願い致します。この時間帯に撤去が困難な方は、準備委員会の責任のもとに撤去致します。

6. 発表取消

責任発表者が欠席した場合は、「発表取消し」とみなされます。ただし、連名発表の場合は、大会委員長の承認があれば連名発表者が発表を代行することができます。なお、その際、同一の者が、複数の研究の発表者になることはできません。発表者に欠席や交代などの変更があれば、会期前は大会準備委員会に、会期中は大会本部に連絡して下さい。

7. 補助資料

補助資料を使用される方は、各自で用意・配布をお願いします。

8. 論文集原稿

各発表者は、発表論文集掲載および優秀賞選考資料のための原稿（2部）をポスター発表受付時にご提出下さい。

9. ポスターパネル

パネルのサイズは、タテ210 cm×ヨコ90 cmです。このサイズ内に収まるようにポスターをご用意下さい。ただし、パネル下部に掲示しますとポスターが見えにくくなりますので、下のスペースにはなるべくポスターを貼らないよう工夫して下さい。

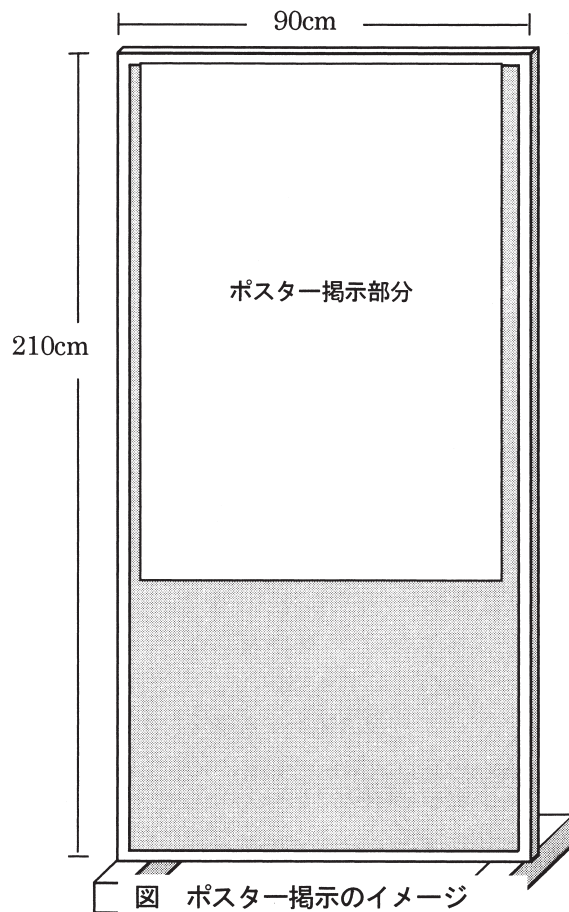


図 ポスター掲示のイメージ

※講演者ならびにシンポジウムの企画者・発表者の方へ

事前打合せのために、控室を用意しております。全学教育棟（C棟3F）C302教室をご利用下さい。ご利用時間は、10：00～15：00です。

1. 原稿の構成

発表論文集掲載の原稿は、原則として、問題、方法、結果、考察、引用文献などの各項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たして下さい。一連発表の場合にも、それぞれが完結した論文であることが必要です。

2. 原稿作成方法

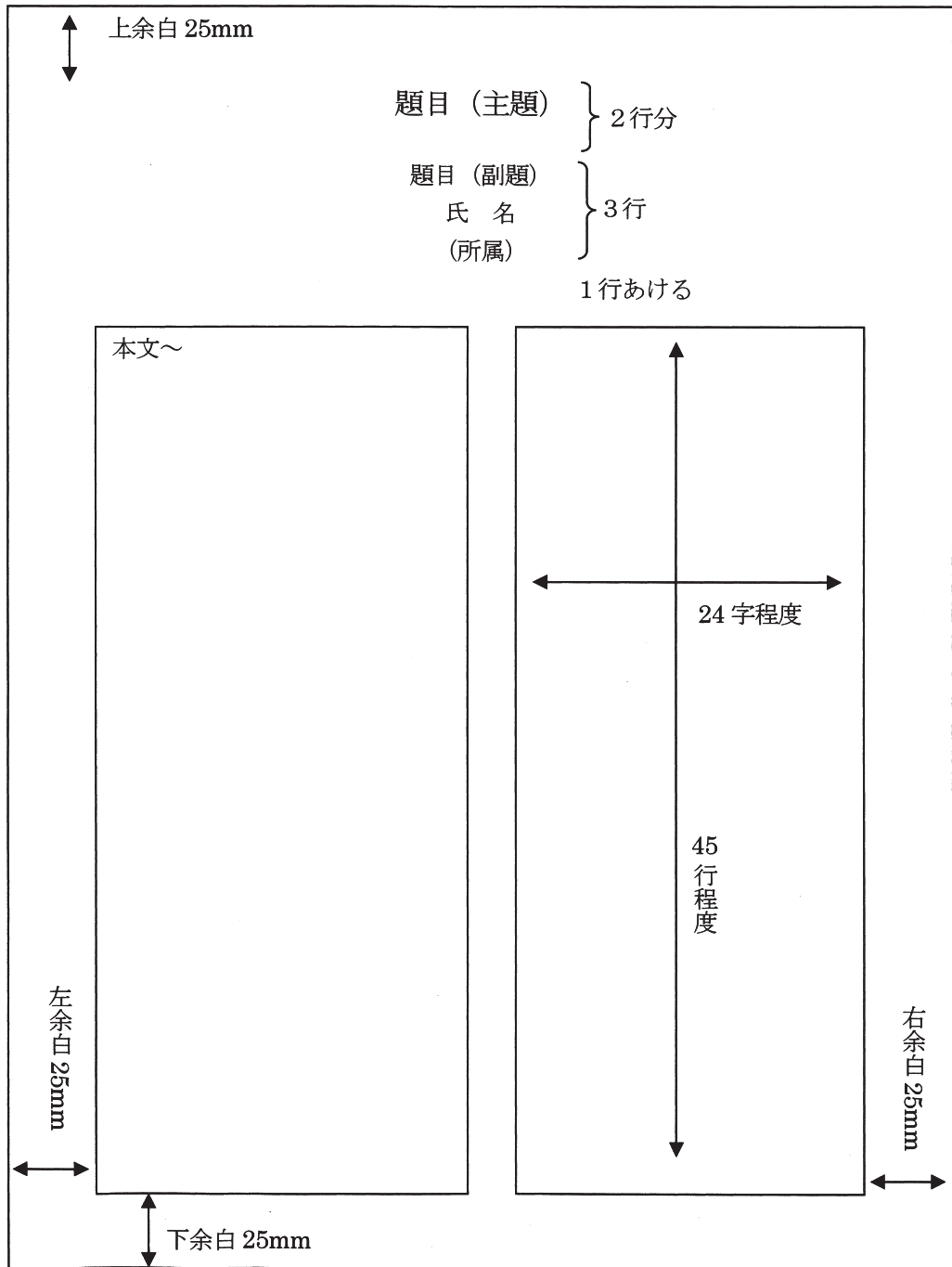
原稿のサイズはA4版で1枚です。原稿の記述はワードプロセッサ等を使用し、普通紙に黒で鮮明に直接印刷して下さい。カラー印刷は避けて下さい。

字数は24字×本文45行(総行数51行)程度を目安として、2段組でレイアウトして下さい。余白は、上下左右に25mm程度とって下さい。

フォーマット用ファイルは大会ウェブサイトにあります。ダウンロードしてお使い下さい。

3. レイアウト

- (1) 「題目(主題)」は第1行と第2行に、4文字分程度を1字に使用して下さい。
- (2) 「題目(副題)」は第3行に印字して下さい。副題がない場合は、第3行を空けて下さい。
- (3) 「氏名」は第4行に記入し、連名の場合には研究発表者(責任発表者)の氏名の前井に○印をつけて下さい。
- (4) 「所属」は第5行に、氏名の下に括弧でくくって記入して下さい。連名の場合、発表者の所属が同一であれば、ひとつだけ記入して下さい。所属が大学の場合には、学部あるいは研究所名まで記入し、大学院生は研究科名まで記入して下さい。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。
- (5) 第6行目は空けて下さい。
- (6) 題目の字数、副題などの関係から上記の行数や字のポイント数に若干変更があっても、「本文」は必ず第7行目から書き始めて下さい。
- (7) 図・表・写真の合計面積は全体の1/3を越えないようにして下さい。
- (8) 図や表は、A4版普通紙に直接記入するか、白紙に白黒で書いたものを貼り付けて下さい。
- (9) 「引用文献」は、本文の最後に書いて下さい。
- (10) 発表会場名、発表日、発表番号などは書き入れないで下さい。



大会ウェブサイトからダウンロードできます。

1日目 11月16日(土) 13:30～14:30
全学教育棟C棟3階 C301教室

「発達障害への神経心理学的アプローチ」

講演者 安村 明 (熊本大学大学院 人文社会科学研究部)

ご経歴(略歴)

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程修了(博士(学術))後、産業技術総合研究所(脳神経情報研究部門)研究員、国立精神・神経医療研究センター研究員、東京大学医学部附属病院研究員、立教大学現代心理学部兼任講師等を経て、2018年4月より熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授

講演主旨

発達障害は、対人社会性、行動面、知的発達や運動面における発達に困難さを抱え、日常生活や社会生活に支障が生じることが懸念されております。しかし、その症状は個人差が大きく、併存することもあるため診断名を特定することが困難な場合も少なくありません。最近注目されている大人の発達障害では、小児期に学校生活や社会の中で支障を持ちながら、原因が発達障害であることに気づかれず、そのまま孤立したり、生きにくさを感じたりしたまま成人となる場合もあります。そのため、不安障害やうつ病などの二次的な障害を併発し、重症化する例も多いことが知られています。

一方、発達障害は中枢神経系の機能、つまり脳機能の障害が示唆されております。特に注意欠陥・多動性障害(ADHD)では国内外の研究により抑制機能に関わる前頭前野の働きの特異性が示唆され、バイオマーカーの候補として期待されています。そこで我々は、抑制課題遂行中の行動および前頭前野の脳血流の活動状態の変化データを基に、近年、予測分析の自動化のために実用化の期待が高まっている機械学習アルゴリズムを用いてADHD児の診断を高感度に予測することのできる手法を開発しました。また、国内の4地域の計6施設の協力を得た多施設共同研究により、大規模な基礎データを取得し、予測精度の飛躍的な向上が実現できました。

本講演では、上記のようなバイオマーカーの探索、認知行動療法に基づいた介入や脳機能の直接的な訓練であるニューロフィードバック療法といった発達障害への神経心理学的なアプローチによる研究を紹介します。

※本講演は、日本臨床発達心理士会(九州・沖縄支部)との共催による公開講演です。この後のシンポジウムと併せて受講することで資格更新ポイントが付与されます。

1日目 11月16日（土） 14：40～16：30
全学教育棟C棟3階 C301教室

「障害のある子どものアセスメント～支援の基礎としての子どもの実態把握」

企画・話題提供 千川 隆（熊本大学大学院教育学研究科）

司会・指定討論 田中 信利（北九州市立大学文学部）

話題提供 實藤 和佳子（九州大学大学院人間環境学研究院）
徳永 豊（福岡大学人文学部）

企画主旨

障害のある子どもを、早期に特定して早期に対応する必要性は、医療や教育、福祉などさまざまな領域で主張されている。障害のある子どもたちに対してエビデンスに基づいた実践が求められているが、実際に実態把握を十分に行い、それに基づいた支援が行われているかは疑問である。そこで、本シンポジウムは発達心理学や特別支援教育の立場から、本テーマについて話題提供を行い、指定討論者とともにその意義や可能性について協議を深めていく予定である。まず、実藤氏が発達心理学の立場から、「子どもの発達特性のアセスメント」と題して、乳幼児期における発達特性のアセスメントにより、自閉症スペクトラム障害の早期特定と、その後の支援について話題提供していただく。徳永氏からは、「障害が重度な子どもにとっての教科学習へのチャレンジー乳児の発達を土台とする国語・算数の視点からのSスケール」と題し、障害が重度であっても教科学習は重要であることから、目標を設定するための実態把握の必要性と乳児の発達を土台とするSスケールとその実践について話題提供していただく。千川からは、「学習のプログレスモニタリング尺度の開発と活用」と題して、担任が利用できる学力評価尺度の必要性と、小学校での学習につまずきのある児童の学習の進捗状況をモニターする尺度の開発と活用について話題提供する。

※本シンポジウムは、日本臨床発達心理士会(九州・沖縄支部)との共催による公開シンポジウムです。初めの公開講演と併せて受講することで資格更新ポイントが付与されます。

2日目 11月17日(日) 13:30～15:30
全学教育棟C棟3階 C301教室

「性の多様性理解と学校現場」

講演者 葛西 真記子 (鳴門教育大学大学院人間教育専攻
心理臨床コース)

ご経歴(略歴)

大阪大学大学院人間科学研究科修士課程修了, 米国ミズーリー大学大学院教育相談心理学専攻博士課程修了(博士(Ph. D.))後, 鳴門教育大学学校教育学部助手, 同准教授等を経て, 2008年4月より鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授, 2010年4月より鳴門教育大学予防教育センター教授(兼任), 資格:臨床心理士, 公認心理師 等

講演主旨

セクシュアル・マイノリティ、LGBT、SOGI、パートナーシップ条例等、多様な性に関する様々な事柄をニュース等のメディアで目にする機会がここ数年で大きく増加した。また、学校現場においては、文部科学省からのセクシュアル・マイノリティの児童生徒への配慮ある対応を求めた通知(2010、2015)が出され、2016年には、教職員のための児童生徒への対応に関する手引きが作成された。

しかし、現在、どのくらいの学校がセクシュアル・マイノリティに関して積極的に取り組んだり、児童生徒へ配慮ある言動をしたりしているのだろうか。日本においては、2015年の「LGBTに対するいじめ」の調査では、8割の当事者の方々がいじめを受けた経験があり、そのうちの3割は教師からの暴言であり、6割は教師が暴言に対して無反応・無対応であったとのことである。つまり、現在の日本の学校現場においては、意識の高い先生方も存在しているが、大多数の教員は、セクシュアル・マイノリティに対してあまり知識を持たず、児童生徒に対してどのように対応すればいいのかわからず、「何もしない」ということになっていると思われる。本講演において、セクシュアル・マイノリティの児童生徒だけでなく、だれもが自分自身の多様性を受け入れてもらえるような学校になるために何ができるのかを考える一助となることを期待している。

※ご講演に加えて、参加者相互の理解を深める対話セッションを時間内で予定しています。

コーディネーター： 八ッ塚 一郎 (熊本大学大学院 教育学研究科)

← 一行アケル

← 一行ツメル

Memo



Memo



Memo



【教育】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
1	大学受験期における達成目標志向性とソーシャルサポートがストレス関連成長におよぼす影響	久留米大学 心理学研究科	竹ノ内 歩加★
		久留米大学 文学部心理学科	原口 雅浩
		久留米大学 文学部心理学科	江村 理奈#
2	中学生に対する反すう低減プログラムの長期維持効果の検討	久留米大学 文学部心理学科	堺 加奈子
		福岡県大牟田 児童相談所	金城 優花
		久留米大学文学部	江村 理奈#
3	大学生のキャリア発達と主体的な学習態度(3)ーキャリア教育と進路決定の連関ー	鹿児島大学	島 義弘
		鹿児島大学	稲垣 勉
4	教員養成における実務家教員の役割の検討2	鹿児島大学教育学系・教職大学院	迫田 峻

※★マークは、学生会員（大学院生、研究生）として登録されている人にものみ付けています。
 学部学生臨時会員や臨時会員にはマークを付けていません。

【感覚・知覚、認知】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
5	受動運動時の自己運動速度の違いが身体近傍空間に与える影響	熊本大学大学院社会文化科学教育部	黒田 尚輝★
		熊本大学大学院人文社会科学部	寺本 渉
6	高齢者の認知・脳機能に及ぼす楽器練習の効果	熊本大学	郭 霞★
		京都大学	山下 雅俊
		大阪大学	鈴木 麻希
		武庫川女子大学	大澤 智恵
		京都大学	浅野 孝平
		京都大学	阿部 修士
		京都大学	積山 薫
7	不正行為を制御する環境とは？ 一室温に着目した実験心理学的検討一	九州大学大学院人間環境学府	劉 歆緒★
		九州大学大学院人間環境学府	楊 静雯#
		九州大学基幹教育院	山田 祐樹
8	認知バイアスと小児における発達障害の特性との関連性	熊本大学大学院社会文化科学教育部	鈴木 暁子
		熊本大学大学院人文社会科学部	安村 明

【社会・集団・文化】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
9	推測した他者の心的状態の不確 実性の認識が円滑なコミュニケ ーションに及ぼす影響	九州工業大学	佐藤 友美
10	友人関係における忠告の理想と 現実ー現代の若者に注目してー	佐賀大学教育学部	大元 誠
11	LINE プロフィールアイコンの変 更行動を通じた自己呈示と対人 認知	大分大学経済学部	加藤 風花
		大分大学経済学部	川野 綾華
		大分大学経済学部	廣瀬 亮太
		大分大学経済学部	井川 純一
12	YouTuber に対する認知に個人特 性が与える影響	大分大学経済学部	真崎 一成
		大分大学経済学部	北崎 千尋
		大分大学経済学部	橋本 望々香
		大分大学経済学部	井川 純一
13	幸福感の多様性と新たな幸福感 概念の検討	中村学園大学大学 院教育学研究科	大屋 公★
		中村学園大学 教育学部	笠原 正洋

【臨床・障害】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
14	育児に悩む親の公的機関に対する援助要請の促進を目的とした介入プログラムの開発	宮崎公立大学	野崎 秀正
		宮崎公立大学	川瀬 隆千
		宮崎大学	立元 真
		都城新生病院	後藤 大士
		いわきりこころの クリニック	岩切 祥子
		細見クリニック	坂邊 夕子
		カリタスの園	岡本 憲和
15	子どもの不適応行動への対応について—母親支援の視点から—	鹿児島大学 教育学部	森藤 悦子
16	特別支援学校におけるキャリア 発達支援の研究(5)	鹿児島県立武岡台 養護学校	榎 慶太郎
		鹿児島大学 教育学系	今林 俊一

【情動・動機付け】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
17	怒り反すうの作用機序に関する モデル作成とそれに基づく怒り 反すう低減プログラムの検討	医療法人社団 豊和会豊前病院	塚元 一正
		福岡県立大学	小山 憲一郎
18	高齢者の主観的健康感と他要因 との関係について	熊本大学大学院社会文化科学教育部	渡邊 弘★
		熊本大学大学院人文社会科学部	安村 明
19	再評価に関するメタ認知的信念 尺度の作成	鹿児島大学	竹下 日菜
		鹿児島大学	榊原 良太
20	何のために趣味を行うのか～「オタク」に注目して～	鹿児島大学 法文学部人文学科	池之上 瑠衣
		鹿児島大学 法文学部人文学科	榊原 良太
21	自分に優しい人は他者にも優しいか-他者の失敗に対する認知にセルフ・コンパッションが与える影響-	大分大学経済学部	井手 紅葉
		大分大学経済学部	伊藤 公平
		大分大学経済学部	徳永 汐里
		大分大学経済学部	井川 純一
22	Motivation and Personality (第3版)における「再版序文」の転記不備について	神奈川県立大学	三島 斉紀

【発達】

第1日 11月16日(土)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
23	大人は幼児よりも非効率的に模倣をする一行為の種類がoverimitationに与える影響一	九州大学 人間環境学府	谷口 雄紀★
		九州大学 人間環境学府	實藤 和佳子
24	絵本の読み聞かせと描画課題に対する意欲	鹿児島大学	岡元 綾香
		鹿児島大学	島 義弘
25	心の理論と時間的拡張自己がメンタルタイムトラベルの能力に及ぼす影響	鹿児島大学	工藤 遥
		鹿児島大学	島 義弘
26	登校回避感情に関連する要因についての日中対比一ストレスサ一およびソーシャルサポート一	鹿児島大学 教育学研究科	陳 燕群★
		鹿児島大学	島 義弘

【教育】

第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
27	地域の色から始まる教科融合型 学習が児童の学習への認識に与 える影響	大分大学教育学部	麻生 良太
		大分大学教育学部	藤井 康子
		大分大学 全学研究推進機構	西口 宏泰
28	高校生における自由選択の感覚 と人間関係の固定化が Well- being に及ぼす影響	大分大学 福祉健康科学部	中里 直樹
		大分大学 福祉健康科学部	古城 和敬
29	小学生の理科に対する興味は演 繹的な授業によって深化するの か	中村学園大学	小野 あゆみ★
		中村学園大学大学 院教育学研究科	石田 靖弘
		中村学園大学	野上 俊一
30	読書の際の想像性に対する挿絵 の役割	北九州市立大学 大学院	森本 恵★

【認知、行動、学習】

第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
3 1	購買金額変動に伴うセールスプロモーション効果の推定-値引きとポイントどちらが嬉しいのか？-	専修大学人間科学部 心理学科	安藤 正和
		専修大学	小杉 考司
3 2	目標志向性の違いは解決不可能課題後の課題遂行過程に影響を与えるのか	中村学園大学大学院 教育学研究科	寺尾 誠弘★
		中村学園大学 教育学部	野上 俊一
3 3	マウスの救援行動の性差の検討	鹿児島大学 法文学部人文学科 心理学コース	松元 幸平
		鹿児島大学 法文学部人文学科 心理学コース	浜島 香織
		鹿児島大学 法文学部人文学科 心理学コース	富原 一哉
3 4	ひらがな単語と漢字単語の読みの流暢性について～語彙判断作業課題の結果の関係性から～	鹿児島大学大学院 教育学研究科	塚田 睦実★
		鹿児島大学大学院 教育学研究科	岩崎 仁香★
		鹿児島大学 教育学部	雲井 未歆

【社会・集団・文化】

第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
35	大学生の社会的スキルと自尊心の因果関係	日本文理大学 経営経済学部	山本 義史
36	プレゼント購入においてなぜ人は非合理的になるのか？	福岡女学院大学 心理学科	渡邊 百香
		福岡女学院大学	分部 利紘
37	ハロウィンイベントにおける匿名性と反社会的行動の関連性	福岡大学人文学部	五反田 周
		福岡大学人文学部	田才 実来
		福岡大学人文学部	亀井 南央
		福岡大学人文学部	國生 夏海
		福岡大学人文学部	堤 千佳
		福岡大学人文学部	花田 実佳
		福岡大学人文学部	縄田 健悟
38	集合的ノスタルジアが外集団成員への態度に与える影響	北九州市立大学 大学院	邢 子潞★
39	大学生のキャリア意識と進路不決断について	北九州市立大学 大学院	王 佳琪★
40	平和教育の経験が平和意識に及ぼす影響—地域差を含めた検討—	琉球大学大学院 人文社会科学研究所	福本 みなみ★
		立命館大学	加藤 潤三
		琉球大学	遠藤 光男

【臨床・障害、看護・医療、非行・犯罪】
第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
在席責任時間 奇数 10:00~11:00
偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
4 1	階層的な視覚情報処理過程と自閉スペクトラム症の中核症状との関連性について	熊本大学大学院社会文化科学教育部	恵 明子★
		熊本大学大学院社会文化科学教育部	鈴木 暁子
		熊本大学大学院人文社会科学部	安村 明
4 2	精神看護学実習における学生の十全的参加を支える看護職以外の専門職の関わり	中村学園大学大学院教育学研究科教育学専攻	水田 進★
		中村学園大学教育学部	野上 俊一
4 3	看護観にかかわる葛藤体験に関する研究	北九州市立大学院	伊藤 尚加★
		北九州市立大学院	田島 司
4 4	「名探偵コナン」における被害者・加害者の関係及び事件の性質	鹿児島大学	林田 恵
		鹿児島大学	池田 真乃花
		鹿児島大学	立石 芽
		鹿児島大学	千代田 歩笑
		鹿児島大学	横山 慧乃
		鹿児島大学	榊原 良太

【発達】

第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
45	異性親子間の自己開示が子どもから見た異性親の魅力に及ぼす影響	鹿児島大学大学院 臨床心理学研究科	玉置 奈緒★
46	「スマホ育児」の実態及び育児不安への影響を探る	鹿児島大学 法文学部	池平 萌鈴
		鹿児島大学 法文学部	榊原 良太
47	親の非明示的期待が大学生の生き方に与える影響	長崎純心大学大学院 人間文化研究科	橋口 唯★
		長崎純心大学 人文学部	吉武 久美子
48	ブックスタート経験が保護者及び生徒に与える影響ー中学3年時追跡調査IIー	福岡女学院 看護大学	原崎 聖子
		福岡女学院大学	篠原 しのぶ
		国際医療福祉大学	彌永 和美

【人格】

第2日 11月17日(日)10:00~12:00

学生会員：★ 非会員：#
 在席責任時間 奇数 10:00~11:00
 偶数 11:00~12:00

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
49	大学生における“キャラ”の一貫性が適応に及ぼす影響	鹿児島大学	川畑 優美
		鹿児島大学	島 義弘
50	大学生における自己愛傾向が劣等感に及ぼす影響	鹿児島大学	木村 紗由美
		鹿児島大学	島 義弘
51	シャイネス IAT の 1 年間隔の再検査信頼性——潜在的シャイネスの変容可能性を含めた検討——	鹿児島大学 教育学系	稲垣 勉
		流通経済大学 社会学部	澤海 崇文
		鹿児島大学大学院 教育学研究科	澄川 采加★
52	有能感の 4 類型と自己愛の 4 類型の対応関係の検討	鹿児島大学大学院 教育学研究科	澄川 采加★
		鹿児島大学 教育学系	稲垣 勉
		鹿児島大学 教育学系	島 義弘